



JARLクラブ登録番号 10-4-68

発行 JA8AJE 笠原 勝

(kcj-p@kcj-cw.com)

編集 JA8AJE 笠原 勝

〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 3-2-1-1013 (thekey@kcj-cw.com)

レポート管理 JR3KQJ 中島 昌己

(kcj-rpt@kcj-cw.com)

会報発送管理 JH3EZV 勝本 健

会員部 JA5CUX 生越 重章

(kcj-mem@kcj-cw.com)

郵便振替口座 00860-1-13444 名義：全国CW同好会

KCJホームページ <http://www.kcj-cw.com>

ハムフェア 2008 出展

KCJのブースにおいていただきありがとうございます。KCJは、ハムフェアにおいてCW愛好者の方に集いの場を提供し、CWの発展に貢献できればと思っています。ひとりでも多くの方に、私たちの活動に関心をお持ちいただき、一緒に活動していただければ幸いです。**18歳以上でCW免許を所有していれば入会可能です。**入会申込にあたり、**会員の推薦は一切不要**です。入会に関するご質問は以下でもお受けしておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

会員部担当 JA5CUX (kcj-mem@kcj-cw.com)

第29回KCJコンテスト

今年もたくさんの局のご参加をいただき、ありがとうございました。コンテストログの提出締切日は、9月18日(木)(消印有効)です。お早めの提出をお願い致します。

コンテスト担当 JA8AJE (ja8aje@jarl.com)

思い出のマイシャックと高1中2

JJ1INO/QRpp 井上洋輔

昔、昔、子供の頃、将来は一国一城の主になりたい(自分の家を持ちたい)と思っていました。一間半の廊下の片隅に棚を作り、座り机に足を付けて椅子机にしました。(写真参照)。左側はガラス戸で、冬は寒く、夏は網戸もなく蚊に刺されました。寝る時には蚊帳を使用している時代でしたが、シャックには蚊帳はありません。

正面にあるのが、高周波1段、中間周波2段の所謂「高1中2」受信機です。メインダイヤル盤には分度器を使用し、バンドスプレッド用にはバーニアダイヤルを使っています。BF0は紅茶の空缶に入れました。真空管は、米軍放出ジャンク品のGT管メタルチューブを主に使用しました。中間周波トランスは春日無線(トリオ)の通信機用T-11です。多バンド用のロータリースイッチの付いたコイルユニットは高価で買えなかったのが、半田付けでバンド切換えをやっていたように記憶しています。その他、写真には写っていませんが、同調用表示器マジックア

イがあり、緑色の蛍光色が懐かしく思い出されます。最終的には、455kcの1st-IFに50kcの2nd-IFを付けた高選択度のダブルスーパにしました。原因不明のノイズに悩まされ、受信機全体をブリキの箱に入れたこともありましたが、効果はありませんでした。

将来は、コリンズタイプのクリコン式オールバンド機を目標にしていたのですが、この真空管時代には実現しませんでした。ネックになったのは水晶で、各バンドに必要な周波数をリストアップし、秋葉原のジャンク屋でダンボール箱にいっぱい入っているジャンク水晶を選別したりしましたがダメでした。

親父に買ってもらった目覚まし時計は、短針を追加しGMT表示付きに改良しました。机の左脇に吊るしてあるのがヘッドホーンで、インピーダンスは4kΩと高く、そのまま鉱石ラジオに接続できました。そして、最も感度が上がるように振動盤と駆動コイルのコアとの間隔を調整しました。

アンテナは14Mc用のダブルレットで、フィーダはAC100V用の並行ビニール線を使用しました。ヨーロッパ等西方面の局をゲットすべく、毎日朝早く起きていました。アフリカのCR5ARが599でガンガン聞こえました。アンカバーかと思いましたが、念のためにカードを送ったところ、ダイレクトで返事が来たのにはビックリしました。日本のきれいな観光地の絵葉書で作ったQSL(SWLレポート)が功を奏したのかもしれません。とにかく、1960年頃の太陽黒点最盛期は良く聞こえていたように思います。



KCJ 会員短信

ハムフェアに向けて、KCJ 会員から寄せられたメッセージをお届けします。

JA1DD 種田靖夫

KCJ もハムフェアの常連となりましたね。CWeRにとって、もっと魅力のあるクラブになりたいですね。これから入会してくれる方に期待しています。

JA1COP 佐々木広武

千葉県浦安市です。最近は衛星も WARC も楽しんでいます。6m の CW が私の原点です。移動局 JA4OEY(常置場所:岡山市)でも出ています。

JA1OYB 内田重雄

7メガで下手な和文を縦ぶれ電鍵(JRC KY-3A)を使用。時々出ています。

JA1PHE 大屋宣昭

サテライトの JCC, JCG が 1 年半で 70%くらい WKD になりました。次は現在 5,000 ポイントの AJA を 1 万ポイントにアップしようと WARC BAND と VHF でコツコツとポイントを増やしています。

JA1TCF 朝香幸男

8N1300WD の管理、運営におわれています。

JH1BAM 鈴木幹雄

相変わらず QRL 状態で、なかなか空に出る時間が取れず DXCC を追いかけるだけで精一杯!!です。皆様のご健勝を祈念致します。

JH1FET 山本光春

時々 50MHz の E スポを使って CW を楽しんでいます。秋の短波帯の CW も少しずつでもと思っています。

JH1HTK 増沢隆久

定年退職後も意外に忙しく、会報チェックのみのアクティビティです。いずれ復活は考えています。

JH1IZR 清田宗彦

細く長く、平塚市からトンツーをやっています。

JH1MVY 品川一男

ハム再開 5 年目の昨年、KCJ に入会しました。ともすると孤独な趣味になりがちですので、KCJ でハム仲間を増やせればと思います。

JH1NXU 井口昭敏

ブース当番の手伝いはできませんが、ハムフェア

には行けると思います。

JH1TFL 足立征一

長い間 QRT していますが、ハム再開をめざしています。

JE1KNT 坪内幸夫

8 月、9 月は例年どおり英国に滞在しますので、ハム関係のイベントに参加できません。アンテナ系(マンション屋上)もガタが来ましたので早いうちにビーム+ローテータに変更したいと思っています。

JF1CQH 石川定男

近頃は SAT(VO-52)で遊んでいます。方位のローテータ以外、手動運用の呼び専門ですが、楽しめます。Hi

JF1RBP 信谷俊行

知人より無線を再開するように言われていまして、準備を進めようかと考えております。Key はずっと机の上にあるのですが、無線機につがっていない状態です。

JG1BAH 菅井耕二

電信の好きなお若い方の入会を楽しみにしています。(2008FD 準備完了! 物見山@JCC0918, 左から JA1FCY, JJ1KXB, JF1CQH, JA1DD, JA1IVL, JG1BAH)



JG1RIA 綾部能雄

QRT 中ですが、HF DP を手に入れました。そのうち On Air 再開したいと思っています。

JJ1INO 井上洋輔

今年は自作品なし、ハムフェアへも不参加ですが、今後サンスポットの上昇に向けてハイバンドでのポイントアップを図っていく予定です。

JK1EBA 長谷川 晃

JA0(佐渡), JA8(礼文, 利尻), JR6(八重山諸島)

と、毎年夏の島巡りを楽しんでおり、今年はJD1 から QRV しました。いつも KCJ の皆様からのコールありがとうございます。

JA2FEA 安藤清嗣

今年から完全リタイヤで、時間はあるのですが、シャックが暑くて座っておられません。本格デビューは秋になりそうです。

JA2HWK 松永 理

現在 QRT 中。来年は再開したい。

JA2MYA 白木 博

DX が NG のため、もっぱら国内の現存市町村ゲットに励んでいます。未 QSO は 20 町村ほどです。

JA2OLJ 岩川吉伸

アマチュア無線を始めて 40 年、還暦を迎えて、なお仕事が QRL 65 歳までに引継ぎ完了できるように努力です。暇を作って無線を楽しみ、友に誘われ芝刈りに。どこまで体力が続くか競争です。

JF2AJA 水野勝成

海外出張が多く、ほとんどオンエアーできていません。出張先は、珍エンティティも多いのですが・・・。

JF2VUF 増田 正

サイクル 24 が待ち遠しいです。

JG2GSY 山崎鶴夫

歳のせいか物忘れがひどくなりましたが、CW だけは忘れません。Hi!

JA3ATJ 坂井紀久男

無線機よりパソコンの前に座っている時間の方がはるかに多くなってしまいましたが、CW を楽しんでいます。

JH3EZV 勝本 健

30 余年在籍していますが、CW 同好会として素晴らしい集団だと思います。各自が高い理想に向かって努力する姿が永続させるのだと信じ、今後ともお世話になります。

JH3HGI 吉村豊樹

サテライト用 ANT を何とかしないと……。西に向けると IV のセンターポールに当たってしまうのです。写真は、移動用のジムニー（20 万 km 走行するも、なお健在）です。

**JR3KQJ 中島昌己**

これはフィールドデーのスナップです。今年は、日曜日に外せない用事があって深夜に QRT しました。養父市氷ノ山の 1,100m ポイントに SHF 主体で設営した巨大なアンテナ群で、KCJA のため SHF の 1 エリアを狙いました。しかし、意気込みの割に 1 エリアは遠かったです。

**JR3XEX 伊達壽夫**

皆さん、KCJ 入会はいかが？ アクティビティ高い各局、CW の重鎮、PC の達人、きっと貴局の新たな展開が開けるヨ。ボーイスカウトの記念局 QSL、真中が私です。



JE3CYH 植田 均

長く QRT 状態ですが、そろそろ復活を狙っています。

JE3GDW 原田雅宏

Simple is best. でも奥深いのが CW ですね。

JI3DST 舟木武史

160m WAC 完成まで、残り南アメリカだけです！

JL3BDA 水田政宏

豊岡では毎日暑い日が続き、移動運用のアクティビティが下がっています。コウノトリだけが悠然と飛んでいて涼しそうです。

JA4TF 助宮義純

“夢うつ古道の緑陰昼寝かな” 司馬遼太郎氏の「街道をゆく」全 43 巻の 33 巻目、「白河、会津のみち、赤坂散歩」を読破。残るは 10 巻。Key は錆び、Keying はままならず、受信は歯抜け・・・心持ちのみハム。

JA4TY 山本忠史

我々の世代、もうちょっと若い世代、昔ハムをやっていたという人と話をすると、しみじみ CW をやって良かったと思います。

JA4BLO 出羽吉次

足腰不調・・・加齢によるもの・・・仕方なし。指先元気・・・モールズ式は何とか叩いています。

JH4PCD 濱岡文治

CW の醍醐味は和文 QSO だと自負している者です。縦振電鍵、ショボクレ電波ながら細々と出ています。PCD のシグナルが聞こえましたらよろしく願います。KCJ の益々の発展を祈ります。

JH4RGH 松田英雄

最近、ハムログでデータ管理をしています。しばらくハムログの勉強です。

JA5CUX 生越重章

QRLL のため、E スポーズンの成果なし。SAT もまだまだ先が遠い。ということで、ポチポチとかせいでいくことにします。秋口からは 3.8MHz にも出ますヨ。

JA5SZM 野田俊弘

6 月末から椎間板ヘルニアにて難儀をしています。

JA6VU 加野政昭

暑さで QRT 中です。

JA6LVW 東條恵輔

体調が良くないので、最近無線は休眠状態です。

JG6CDH 阿部晋三

最近ハム活動からすっかり離れてしまっていますが、サイクル 24 のピークに向けてまたぞろ再開するつもりです。AAA アワードがまだ完成できていませんので、第 1 のターゲットは ZS3 との交信です。照準を 2009 年～2011 年の夏の夜に合わせます。

JI6TJL 扇 隆一

転勤族のため万年アパマンから脱却できません。最近会社存続の危機で、残業、休日出勤も多く、コンテスト出席率は大幅に低下。

JA7AEM 樋口知雄

限られた時間と設備のもとで、月間 500QSO、年間 6,000QSO を目標に OA しています。今年も何とか達成できそうです。

JA7DCD 佐久間功

Rig 一式を引越しの時に整理してしまい、今のところ QRT の状態です。

JA7KJR 甲斐谷 彰

おかげさまで 7/18 SAT-CW で WAGA を完成でき、7/30 にアワードを受領致しました。各局の FB SVC に感謝致します。SAT-CW にて全市全郡全区完了でした。

JA7QLP 工藤博昭

いつもながらノーアクティブ状態。ハムフェアではブースのお手伝いをします。これを機によりしくお願いします。

JH7FQK 氏家一男

ここ数年、年に数回コンテストに出る程度です。

JH7VOT 吉田源蔵

常時、各バンドで JCC、AJA 等のアップに懸命です。従ってコンテスト参加、移動局も QRV、最近道場の CW アワードにも。それにしてもコンディションはいまいちですね。Hi

JO7EGJ 坂田宏記

最近古い真空管リグと格闘していてアクティビティが下がる一方ですが、単身赴任をこれ幸いと、山梨県内各地からの移動運用も少しずつ楽しんでお

ります。写真は、単身赴任先（甲府市）のシャック（JA8TVP/1）です。冬に撮った写真で暑苦しい格好ですが、ご勘弁を！

**JA8LN 小林良治**

最近、コンテスト(内外を問わず)参加を生甲斐(!?)とし、平日は記念局の「追っかけ」をやっています。ALL JA8 では多くのメンバーからコールをいただきありがとうございました。

JA8AJE 笠原 勝

CW ライセンスを持っていて、まだCW QSO をやっていない方。スケジュールを組んで 1st CW QSO に挑戦しませんか。@jarl.com へメール下さい。

JA8OHG 吉河 勲

毎日キーを叩いていますが、AJA は進まず進展なしです。

JA8PMN 小林敏哉

昨年、メタボ対策のため自転車通勤を始めました。夏の間ですけど、いい汗をかいています。

JA8PON 五十嵐誠治

帯広では屋根よりも低い長い ANT、札幌では MS10F の 4m のワイヤー(つり竿)。CONDX だけが頼りで毎日耳を澄ましています。

JH8CBH 佐々木 朗

サミット特別局ではたくさんの方にコールいただきました。北海道コンテストとも重なり楽しく運用できました。

JH8MWW 青山武志

釣竿 ATU+ローパワーで細々と QRV しています。ハムフェアの盛会を！

JH8WEJ 成田修司

仕事机の上に FT-897/HK-802 を置いているのです

が・・・SW に手が届きません。アクティビティはドン底です。

JR8RKV 太田富士子

QRT が続いておりますが、仕事がヒマになった時の楽しみに KCJ に入れておいて下さい。

JE8JYD 三浦淳一

家のアンテナが折れてから無線には出ていません。サイクル 24 に合わせて復活したいところです。

JA9CZJ 松盛裕吉

QRL で数ヶ月先の計画がたてられません。スポットで仕事の無い日には無線でウサ晴らしをしています。

JA0BJ 武井宏喜

CW は少ない電力、POOR なロケーションでも QSO できます。私のように資力も体力も地の利もないものでも何とか DX?を楽しんでいます。

JA0AAQ 羽入敏夫

太陽黒点といっしょに目覚める予定です。

JA0EMS 錦織善和

今、1.9MHz にはまっています。よろしくお願いします。

JE0JAO 坂井 明

昨年 5 月末の開胸手術以降休止状態でしたが、ようやく今年 3 月下旬に移動運用を行ないました。サイクルの上昇傾向で、移動地の選定が楽しみです。Hi!

全国CW同好会 (KCJ) のしおり

入会を希望される方へ

全国CW同好会は、CW QSOを通じてお互いの友情を温めあい、同時にCW通信技術を高めるために努力しています。ハムの中で、もっともハムらしいハムと自負している人たちの集まりで、全国におよそ160人の会員がいます。

会の略称「KCJ」のフルネームは、Keymen's Club of Japanと称します。Keyとは、私たちとは切っても切れない縁の深い電鍵であり、また“重要人物”という意味が含まれています。メンバーの一人ひとりが、良きCWマンであり、同時にアマチュア無線界のKey Stoneを守る人物でありたいと願いをこめて命名されました。

メンバーには、それぞれの地域でアマチュア無線の指導的な立場にある人も多くいますが、本会は、ビギナーにCWを指導するというよりも、むしろ自分でCWの面白さを見つけ、長くCWを楽しみたいと考える人たちが集まった会です。

CWは通信の原点であり、電波が存在すれば、それを断続するだけで通信ができ、もっとも単純でありながら、もっとも確実な通信方法です。電波が飛んで行く、通信ができるというアマチュア無線の根底にある素朴な興味を満足させてくれます。

ご承知のとおり、CWは電話にくらべると通信の能率は悪く、意思の伝達に苦労することがあることも事実です。その欠点をカバーするために、簡潔な通信文を工夫してつづります。その通信文を解読し、相手が伝えようとしている内容を読みとり、符号に乗って伝わってくる相手の気持ちに触れることができます。これは推理や想像を楽しむ、ひとつの知的なゲームとしての面白さがあり、これこそ他の通信方法とは異なったCW通信の醍醐味だと言われています。

アマチュア無線に興味をもつ人は、いつの時代にも少なくありません。日本では周知のように、世界に先駆けてノーコードライセンスを導入したことにより、アマチュア無線への入門の道が広がった反面、CWを知らないハムも多くなっています。いつときの興味でアマチュア無線を始めたり、その中でCWも一つのモードとして関心をもったりというだけでなく、通信の原点でもあるこのCWをいつまでも大好きで、生涯、腕を磨くテーマの一つにしようという考えの方々を本会は歓迎しています。

このように本会は、CWが好きな人の集まりですが、アマチュア無線のさまざまな楽しみ方を否定するものではありません。いまや多くの電波型式が許可されているアマチュア無線界ですから、いろいろな分野にパイオニア精神を発揮するのも結構です。しか

し、結局はCWの面白さを認識された人たちが、いつかはここに集まってくるのではないかと考えています。

全国CW同好会の活動について

CWをより身近に、そしてエキサイティングなものとするために、ハムライフの中でCW QSOのいろいろな楽しみかたについて、多少のヒントを提供しています。また、本会が広くCW通信の発展にどのように貢献しているかを、具体的な事業を通して理解を深めていただきたいと考えています。

そのいくつかの事業を紹介します。

(1) アワード「KCJA」の発行

本会はユニークなアワード「KCJA」を発行しています。ネーミングは“Keymen's Century of Japan”で、また、KCJ Awardとも読めます。アワードルールは、単純明快で、マルチバンドで、のべ100都道府県とCWでQSOするというものです。

また、KCJ発足25周年を契機にKCJAルールを一部改定しました。KCJA申請にあたって、QSLカードを提出していただくことを原則にしましたが、これまでの実績からQSLカードの正確な表記について、認識が十分に浸透したと考えますので、QSLカードの提出義務を原則的に廃止し自己宣誓方式に改めました。また、上位への挑戦意欲を持続していただくため、400点以上の申請は25点刻み、600点以上の申請は10点刻みに変更し、併せてステッカー制度を採用しました。

(2) CWコンテストの主催

毎年8月に、本会主催で「KCJコンテスト」を行っています。このコンテストの目的は、互いに確実なCW通信を通してCW送受信技術の向上を図り、かつCW愛好者の親睦を深め、併せてコンテストにおけるフェアプレー精神を高揚することにあります。

本会では、CWは個人の努力でマスターすべきものという考えから、本会が主催するコンテストには個人局しか参加できません。また、本会主催のコンテストの大きな特徴は、提出されたログを全数コンピュータで審査し、双方のログの記載内容が一致した場合に限って双方に得点を与えるという規則にあります。ログを提出しない局とのQSOは得点になりません。ログを提出したからといっても、記載・転記ミスなどがあると、審査の段階で双方のログが一致せず、自分も得点できないし、相手にも得点が与えられないことになります。得点を競う競技においてのフェアプレーとは、ルールにのっとって参加し自分も得点し、かつ相手にも迷惑をかけないことで

す。

ログ審査プログラムは、会員の間で議論を重ね、改善が行われた結晶です。また、近年はE-mailやFDでのログ提出を推進するなど、参加する人が自分のログをきちんとチェックして整理してあれば、合理的で公平な審査ができるようになっていきます。

毎年2月に、本会主催で「KCJトップバンドコンテスト」を行っています。1.9MHz帯の狭いバンド幅でもコンテスト実施が可能な独特のルールで、KCJトップバンドコンテストを行ってきましたが、2000年に1.8MHz帯の開放があり、バンド幅は一挙に倍増しました。このため、KCJトップバンドコンテストルールを大幅に見直し、1.8MHzと1.9MHzの両周波数帯を使用できることとし、この機会にDX局の参加を可能にしました。

アワードもコンテストも、一種のスポーツであり遊びにすぎないことですが、そこにも守るべきルールがあります。誰もが容易に電波を出せる時代になっても、アマチュア無線の楽しさとは、規律とけじめを前提にしてこそ意味がある、と本会は考えています。

(3) 都道府県・北海道支庁の略称の制定

私たちは、CW通信で省略されたつづり文字から、もとの語が何であったかを推察し、その意味を理解するということを、日常よく行っています。短い略称から、都道府県名などが容易に推察できるように、既成のコードとしてあった漁船の船籍都道府県名を示す符号をもとに、多少手を加えてKCJ独自のものを制定しました。このコードは、KCJが主催するコンテストで交換するナンバーに使っています。CW通信にセンスあふれる略語として、日常のQSOでQTHの表示にどんどん使って欲しいと思っています。また、他のコンテストのナンバーなどにも利用していただけることを願っています。

(4) KCJホームページの運用

会員向けの会報「ザ・キー」の発行以外に、KCJ活動内容を内外に知らせるため、KCJホームページ (<http://www.kcj-cw.com>) を運用しています。会の活動に興味と関心をお持ちの方は、一度アクセスされますようお願いいたします。

(5) その他の活動

通信の原点ということは、アマチュア無線発祥のころの手づくりの通信という意味があって、今日でもCWは自作の入る余地のある分野です。本会会員の多くは、自分の無線機を何か自作した経験があり、自作するアマチュア精神は、QRP機に凝縮されています。その記録にいとむ人もあれば、コンテストやアワードハントに巧みな人もいます。また、各バンドでヌシのように活躍している人、移動運用に熱心な人、DXをバリバリ稼いでいる人もいれば、もっぱ

ら外国の電波の旅情を楽しんでいる人もいます。コンピュータとCWの接点を求めて、独自の活動をしている人もいます。地域でCW通信の指導に熱心な人もいます。

そんなエキスパートたちを、根底で結んでいるのがCWです。物質文明全盛の時代は、アマチュア無線もその例外ではなく、画像通信、衛星通信さえも手軽にメーカー製の機械を使って行われるようになりました。電波は飛んであたりまえ、聞こえて当然という風潮が生まれ、この趣味の存在する根底が、ゆらぎ始めたのではないかとさえ思われます。しかし、自分で努力して符号を覚え、自分でキーを操作してはじめて可能になるCW通信には、何か自分でやらなければならないという、古き良き時代のアマチュア精神が温存されているように思います。

CWはこの先、アマチュア無線の世界にしか残らないことになりましたが、自分の出した電波がはるばる飛んで行くことに対する素朴な興味と驚きを感じる感性豊かな人が絶えない限り、アマチュア無線のCWは存在し続けることでしょう。

CW同好会が、将来ただの「CW保存会」になってしまうことを嘆く声も聞かれます。しかし、それが死んで博物館に置かれるような保存ではなく、その電波が原始的ではあるが、確実な通信の手段として世界を飛びまわっている「動態保存」であれば、これは愉快なことではないでしょうか。そのためにも、本会は、“下手の横好き”の会ではなく、“好きこそものの上手”の会でなくてはならないと思っています。

全国CW同好会への入会について

入会資格は、**18才以上の方であること、個人局で、CW免許を保有していること**が必要条件です。KCJ入会申請書へ、ご自身のアマチュア無線活動歴や、アマチュア無線やCWについてご自身の考えを述べていただきます。これは、入会にあたっての自己紹介と考えてください。

入会申請書が受理されたとき、KCJの資料に照らし、申込者に対し会から若干の質問に答えていただくことがあるかもしれません。これらの手続きは、本会を理解し、会の活動に対して賛同と協力をいただくことが必要であるからです。

会員はハムである以前に、よき社会人であることを強調しています。入会して、何か特別な利益があるという会ではありません。どの会員もボランティア精神を基に、会の運営に協力することが前提とされています。

本会会員は、電波法規の遵守はもちろん、アマチュア無線のよき習慣を不文律として守ることをモットーにしています。また、会員になられてからは、会の主催するコンテストに参加されたときは、主催者側の一員として必ずログを提出することを心がけていただきます。

長い生涯のうちには、いろいろな事情で好きなアマチュア無線から遠ざからなくてはならないこともあるでしょう。そのようにアクティビティの落ちた時期にあってもアマチュア無線とCWには関心を持ち続け、本会会員であることに意義を感じ引き続き在籍していただきたいと思います。そうした事柄すべてを含めてライフホビーというのだと私たちは考えており、このような考えにご賛同いただける方に入会していただけることを心から望んでいます。

入会申請方法

この会報に添付されている入会申請書に必要な事項を記入してKCJ会長代行に提出してください。

送付先： 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 3-2-1-1013

JA8AJE 笠原 勝
(E-mail: kcj-p@kcj-cw.com)

役員会で審議され入会承認書が届いたら、所定の会費を納めて、貴局もKCJの一員となります。

JARL コンテストのドネーション

KCJ は、CW の発展に貢献することを目標のひとつとしており、JARL 主催のコンテスト (CW 部門) にドネーションをしています。

2007 オールアジアコンテストでは Single Operator, All Band, Low Power 部門の優勝者である UA9AL, Andrej A. Selin 氏に贈られた楯 (写真) のドナーとなりました。



マウス・パッド「第2のお勤め」

JM1HUX 山後勝崇

最近マウス・パッドを使わなくなっている方が

多いのではないのでしょうか。どこかに眠っているマウス・パッドはありませんか。小生は処分せず、マウス・パッド「第2のお勤め」として、次のように活用しています。

パドルの下敷き

エレキー用のパドルの下にはゴムの滑り止めの脚が付いていますがコンテストなど早撃ちに興奮してくるとキーが右、左に移動してしまい上から手で押さえることになり、データの入力または筆記に猫の手が欲しくなります。そこで、マウス・パッドを裏返しにして机とパドルの間に挟むとウレタンがゴム脚をキャッチして少々のことでは動かなくなり、空いた手で作業がスムーズになります。マウス・パッドの表側の硬い方と机が滑りやすいのですが、両面テープで固定するまでには到っていません。なお、縦振れキーの場合は余り効果がありません。

スタンプ押しの下敷き

移動運用で道の駅から QSO したとき、発行する QSL カードに条件が発生します。道の駅アワードには、QSL カードに運用した道の駅のマークが入ったスタンプが押されていないと申請できません。スタンプのある QSL カードの提出か、そのコピーの添付を求められるからです。現地でカードに捺印するとき、硬いテーブルしかないとき鮮明な刻印が得られません。そこで、裏返したマウス・パッドの上にカードを置いて押しています。失敗も少なく、FB なののが得られます。汚れたスタンプは、少々濡らしたティッシュ・ペーパーで掃除するとさらに綺麗に仕上がります。薄いときは、事務所にインクの補給をお願いするとよいでしょう。皆さまもぜひお試しください。

CQ セレナーデ

JA5CUX 生越重章

“CQ”といえば、私たちハムにとって切り離せないものですが、ある WEB ページに“CQ セレナーデ”という曲が流れています。軽やかなメロディーに、“Dah di dah di- dah dah di dah ~ ” で始まる歌がついています。メロディーは、皆さんおなじみの Side by Side がベースになっていると思います。

私は病みつきになり、仕事で疲れたときなどには気分転換に何度も繰返して聞いています。女性ボーカル (英語)、男性ボーカル (仏語) のほか、楽器演奏もあり、結構楽しめます。ぜひ、いちど聞いてみてください。

(URL: <http://www.zerobeat.net/cqsong.html>)

(完)